

中山間地域における住民主体のSDG s まちづくり事業

鳥取県智頭町（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

智頭町は鳥取県東南部に位置する中山間地であり、かつて全国有数の林業地として栄えていました。少子高齢化や人口流出により昭和30年代から人口は半減し、高齢化率も県内上位に位置していますが、住民自治活動が活発で、様々なアイデアや事業が実施されており、「住民自治」のパイオニアとして住民主体の仕組みづくりを展開しています。今後は各事業の横展開や町外からの関係人口の呼び込みによる地域課題解決を積極的に行い、「賑やかな過疎地」として目指すべき将来像の実現を図ります。

2. 関連するゴール



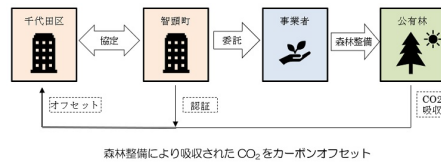
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

町の総面積の93%を占める山林を豊富な資源と捉え、森林環境を意識した様々なビジネスやアクティビティの創出を図るとともに、集落や地区などの活発なコミュニティとの連携や横展開を行います。IP告知端末や電子通貨などの情報通信技術を活用したDX化による利便性向上と多世代融合を実現し、既存活動の強化と新規事業の開拓を進めていきます。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

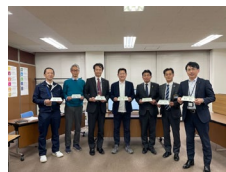
○他自治体との連携

千代田区と智頭町による2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定を締結しました。森林整備の実施やCO2吸収量の認証、再生可能エネルギーの創出・導入、環境学習交流、木材利用推進、脱炭素化の推進に向けた住民、企業の活動促進などに関して、都市と地域が連携していきます。



5. 取組推進の工夫

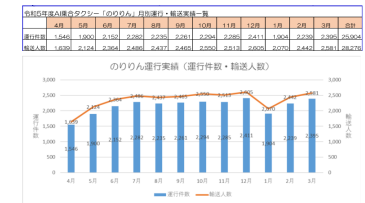
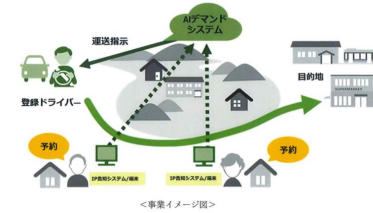
都市部大学、地元大学、町内金融機関、商工会、町を構成員とする「SDG s アドバイザリーボード」を設置し、情報共有や意見交換を行っています。



6. 取組成果

○AIデマンドシステムを使った共助交通の仕組みづくり：共助交通「のりりん」（2023年KPI実績／目標：28,276／20,000人）

過疎高齢化の進む中山間地域における新しい公共交通の仕組みが構築され、2023年4月1日から本格稼働に移行しました。AIシステムと住民ドライバーとの融合により、地域住民の持続可能な交通確保が達成されています。



7. 今後の展開策

○AIデマンドシステムを使った「貨客混載」の可能性調査

「のりりん」の仕組みを活用し、ヒト・モノ・コトを運ぶ新しい物流システム構築に向けた可能性調査を行います。

○SDG s アドバイザリーボードを発展させた起業・創業への中間支援組織の組成「スタートアップしやすいまち」を目指したイノベーション事業を推進します。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

2022年度静岡県松崎町と連携して実施したモデル事業により、NPO法人日本で最も美しい村連合加盟町村を対象とした「美しい村DAO」を設立しました。長野県、静岡県、北海道など徐々にではありますが連携が広がりをを見せています。